

平成 29 年度 四国支部技術研修会 実施報告書

- 1 視 察 先 : ①国際放送機器展 (Inter BEE 2017)
② (株) 昭電 テクノセンタ
- 2 研修期間 : 2017 年 11 月 16 日 (木) ~17 日 (金) (2 日間)
- 3 参加者 : 4 名 (3 社)

①11/16(木) 13:00 ~ 国際放送機器展 (Inter BEE 2017) 視察 (幕張メッセ)

平成 29 年度四国支部技術者養成事業の一環として、「国際放送機器展 (Inter BEE 2017) 技術研修会」を実施した。

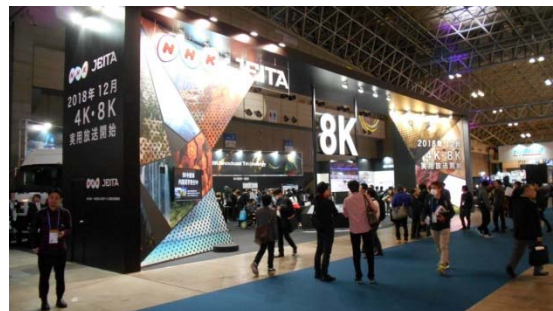
今年で 53 回を迎える Inter BEE 2017 は、過去最多となる出展者数 1,139 社、来場者数 38,083 人 (3 日間) と大変盛況であった。音と映像と通信のプロフェッショナル展として開催され、今回は展示ホールを前回より拡張し、はじめて幕張メッセ国際展示場 1 ホールから 8 ホールまでの全館を使用。「プロオーディオ部門」、「映像表現/プロライティング部門」、「映像制作/放送関連機材部門」、「ICT/クロスメディア部門」4 部門で、過去最大規模の開催だった。2018 年 12 月の 4K・8K 実用放送開始に向け、放送事業者がそれぞれの準備状況などを報告するほか、4K・8K 撮影・編集技術をはじめとして、HDR (ハイダイナミックレンジ) や HFR (ハイフレームレート) など、最先端の映像・音響制作、圧縮・伝送、表示技術等を視察することができた。

特に今回は 8K 技術を提案する出展企業の顔ぶれが増え、また新たに様々な視点からの AI の活用や、昨年から引き続いて 360 度映像、VR (仮想現実) や AR (拡張現実) による新たなコンテンツ体験の提案がさらに進展していた。本視察研修は新しい知識を深める良い機会となった。

<参加者の感想>

- ・ 4K・8K の番組制作機器が中心に展示されていたが、2006 年頃から順次整備されていた地上デジタル用放送機が設置後 10 年経って更新時期を迎えているため、放送用の中継放送機や伝送装置の展示が増えていた。一方、VR を体験できるブースもあり、映像表現の方法が多様になっていることを痛感した。来年以降はさらに展示内容が充実するものと思われた。
- ・ 4K・8K 対応機器もほぼ出揃い、現実味が出てきた雰囲気が漂っていた。今回は、確認したかったスピーカーも見ることができ良かった。
- ・ 4K・8K をテーマとした展示が多く、業界としても 4K・8K に注力している事がうかがえた。ただ、製品がそろい始めた段階の様で、どれだけ普及するかはこれからと思われる。また、IP での伝送を中心に考えられており、インフラとしても、既存 IP システムとの整合性を含める必要があると感じた。

- ・ 普段の業務であまり関連のない分野ではあったが、8Kテレビの展示などを見て技術の進歩は速く自分も学習を重ねていかないといけないと思った。ネットワークや伝送の仕事をする際にはもっとこの分野の理解も深めないといけないと思った。



②11/17 (金) 10:00~12:00 (株) 昭電 テクノセンタ 視察

技術研修先として(株) 昭電 テクノセンタを訪問した。

テクノセンタは、世界最大級の電流 200kA 10/350 μ s を発生可能な「雷インパルス電流発生装置」や「120万V 雷インパルス電圧発生装置」「短絡電流試験装置」などの試験設備を備え、雷害対策製品や電源装置など各種製品の設計・製造・各種試験を手がける技術拠点である。特に、JIS 対応 SPD を始め、新規格に準拠した技術の開発・検証などを総合的に行っていた。

身近な自然現象であり、奥の深い最新の雷対策技術を学習・体験することができ、有意義な時間を過ごすことができた。特に雷インパルス発生時の爆音はすさまじく、雷の威力を体感でき、貴重な体験となった。またそれを吸収する SPD の性能に感嘆した。

<参加者の感想>

- ・ 雷関連の規格や SPD の選定方法・施工など、専門メーカーの勉強会は参加する機会が無かったため、大変勉強になった。
- ・ 訪問するまでは自分にとっては余り関係が無いように思っていたが、現実には弱電用の避雷器も新しくなっており、勉強になった。又、自分の中では相談対象も浮かんでおり、連絡してみたい。
- ・ 落雷の仕組みから、基礎的な考え方を学べたところが非常によかった。これまでも現場でサージ対策を行って来たが、理論的な事までは理解できていなかった。また、実際に落雷での実験も見せて頂き、サージ対策が効果を発揮するかを実感できたこともよかった。
- ・ 雷対策の仕組みについて知ることができてよかった。現在の移動体業務の基地局建設設計を精査する際の SPD ブレーカの設置方法の理解を深められたのでよかった。また、雷を発生させる試験装置の見学ができて、実際に雷が落ちた際の他の機器に影響がどう発生するかを考えられたのでよかった。



以 上